

8月・9月・10月の行事日程一覧

8月26日(土)【歴史講演会】 備後の6世紀は『変革』の時期～西暦536年イベントを中心に～
8月26日(土)【納涼会(中世山城模型展)】(納涼会は要申込) 歴史講演会終了後 福寿会館に移動して行います。
8月28日(月)【分布調査】(要申込) 中世石造物調査(郷分町方面)
9月2日(土)【特別歴史講演会】(要申込) 謎の山城 茨城を探る(古代山城研究会・備陽史探訪の会共催)
9月2日(土)【古代山城研究会との懇親会】(要申込) 歴史講演会終了後 御湯殿に移動して行います。
9月9日(土)【歴史講演会】 県立歴史博物館共催 志川滝山合戦と宮氏の盛衰
9月25日(月)【分布調査】(要申込) 中世石造物分布調査(神辺町・加茂町方面)
10月1日(日)【中世城館測量調査】(要申込) 四川滝山城跡測量調査
10月7日(土)【ぶら探訪76】(要申込) 大佐山白塚古墳を歩く
10月22日(日)【ぶら探訪77】(要申込) 大門の旧海軍の史跡
10月28日(土)【分布調査】(要申込) 中世石造物分布調査(駅家町方面)

各部会学習会のスケジュール

8月23日(水)【古文書部会】「古文書解読会」
8月25日(金)【古文書部会】「古文書入門講座」
9月9日(土)【近世近代史部会】「近世福山の歴史を学ぶ」
9月16日(土)【中世史部会】「中世を読む」
9月20日(水)【古文書部会】「古文書解読会」
9月23日(土)【古代史部会】「大人の博物館教室」
9月29日(金)【古文書部会】「古文書入門講座」
10月18日(水)【古文書部会】「古文書解読会」
10月21日(土)【中世史部会】「中世を読む」
10月27日(金)【古文書部会】「古文書入門講座」
10月28日(土)【古代史部会】「大人の博物館教室」

上記行事は全て一般の方も参加いただけます。
要申込の行事は右記参加申込フォームないし事務局へ。

2023(令和5) 行事案内 8月号



備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の
歴史を研究し、愛郷
の精神を涵養する。
(会則第1章第2条より)

行事参加の お申込は

「要申込」のある各行事参加
の申込は以下のいずれかより
お申込ください。

◎公式サイトの参加申込フォーム
「[https:// : bingo-history.net](https://bingo-history.net)」



◎事務局へメール
「info@bingo-history.net」
◎事務局へ電話
「070 - 1074 - 9617」

〔備陽史探訪の会事務局〕
〒720-0824
広島県福山市多治米町5-19-8

9月2日(土)

特別歴史講演会 (オンライン同時開催)

古代山城研究会・備陽史探訪の会共催

謎の山城 茨城を探る ～古代山城・茨城と芋原の大スキ跡～

本年3月に行った古代山城研究会と備陽史探訪の会の合同踏査で、福山市加茂町北山の芋原地区が『続日本紀』養老三年(719)に停廃記録はあるものの場所がわからなかった古代山城茨城であることがほぼ確実となった。今回両会合同で茨城についての最新の調査・研究成果を4件報告する。

- 【期日・時間】 9月2日(土) 午後1時10分～5時
【会場】 福山市民参画センター 5階 第1会議室
【参加費】 500円
【募集人員】 100名 (備陽史探訪の会 60名程度)
【備考】 要申込み。定員になり次第締め切ります。

要
申込

オンライン(Zoom)でも聴講いただけます。参加費無料。
希望者はホームページの参加申込みフォームか事務局へお申込みください。

講演1 備陽史探訪の会と古代山城の探索

講師 田口義之(備陽史探訪の会会長)

備陽史探訪の会が設立された当初の目標は、備後の茨城・常城の探索であった。1980年代、府中の亀が岳や福山市の蔵王山を調査して歩き、神辺町の木之上遺跡が茨城跡の可能性があると指摘した。その後創立メンバーの1人七森義人氏为中心となり、昭和59年から60年にかけて、史跡調査の過程で加茂町北山に「大スキ」という大規模な空堀遺構があることを発見、その規模の大きさから、この空堀遺構を茨城跡に比定した。今回はこの発見に至る経過について報告したい。

講演2 古代山城「茨城」の実像を探る

—合同踏査の成果から—

講師 松尾洋平(古代山城研究会)

『続日本紀』に記載されていないが、長らく不明であった備後の茨城。福山市加茂町北山の芋原において、今年3月に実施した備陽史探訪の会と古代山城研究会の合同踏査によって古代山城が確認され、にわかに茨城の可能性が高まりました。規模だけで言うと古代山城の中でも10位以内にランキングされ、この広大な山城がどのような構造をもち、古代社会での役割を負っていたのか、現時点での評価と今後の課題をまじえながら、茨城の実像を探ります。

講演3 茨城と抜原郷

講師 向井一雄(古代山城研究会会長)

茨城の所在郷と推定されてきた「抜原郷」の訓みは「ヌバラ郷」ではなく、「ウバラ郷」であったことを、『和名抄』などに載る薬草「抜葵(サルトリイバラ)」の名から論じ、茨城は普通「イバラキ」と読まれているが、これも「ウバラキ・ウバラノキ」と訓じるべきことを解説したい。



講演 4

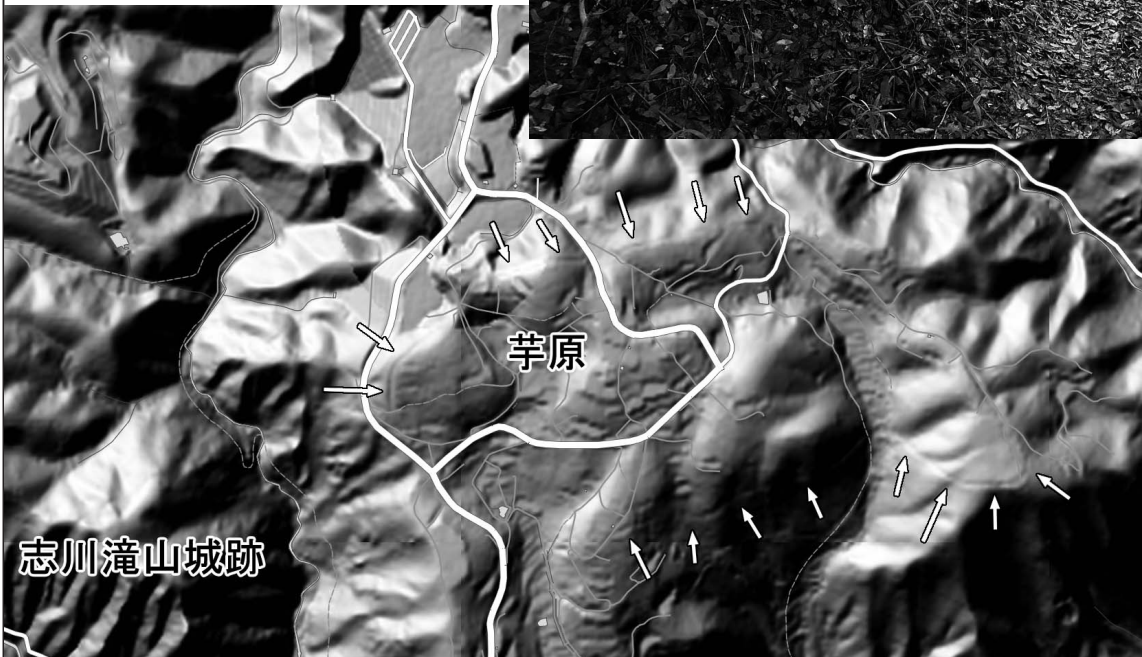
備後茨城周辺の終末期古墳について

講師 村田 晋(広島県教育事業団)

古代山城はどこにでもあるものではない。ではなぜ、当地が古代山城の築城地に選ばれたのか。この問題を考えるにあたっては、近い時期に営まれた周辺遺跡の状況が参考になるかもしれない。備後南部に特徴的な、横穴系埋葬施設をもつ終末期古墳を中心にとりあげ、選地のヒントを探る。

大スキの現況

地理院地図陰影起伏図
に現れた大スキ



懇親会

講演会終了後、福山城本丸内 御湯殿に移動して実施します。

今回芋原の調査を合同で行った両会で懇親会を行います。今後とも協力しながら調査を進めていく為にも懇親を深めたいと思います。

- 【時間】 午後 5 時 30 分頃から
- 【会費】 2,000 円
- 【募集人員】 40 名(備陽史探訪の会 25 名程度)
- 【募集締め切り】 8 月 30 日

要
申込

8月26日(土)

歴史講演会

演題

備後の6世紀は『変革』の時期

～西暦536年イベントを中心に～

古代史部会 部会長 網本善光

自然環境の変化は、影響を与える範囲が広いために、生活や文化を大きく変えることがあります。今回取り上げるのは、「西暦536年イベント」と呼ばれる気候変動です。近年、この頃に火山の噴火を原因とする地球規模の気候変動があったと主張されています。

確かに、6世紀前半の古墳時代後期の備後地域は、古墳の築造が少ないようです。そこで、この気候変動へ備後がどのように「対処」したのかを、文献資料も交えて考えてみようと思います。

【期日・時間】 8月26日(土) 午後2時～3時半
【会場】 まなびの館ローズコム 中会議室
【参加費】 無料
【募集人員】 150名
【備考】 申込みは不要

申込
不要

納涼会(中世山城模型展 同時開催)

講演会終了後、福寿会館(福山城北)に移動して実施します。

新型コロナ感染が拡大して以降、屋内での飲食を伴う会合は自粛して来ましたが、感染も落ち着き社会もウィズコロナに舵を切ったこともあり、今年からこの納涼会を嚆矢として再開したいと思っています。この2年間にこのような会で無いと話せないようなこともたまりにたまっていると思います。大いに盛り上がりましょう。

【会場】 福寿会館(福山城北) 本館大広間・中広間
【時間】 午後4時30分頃から(模型展は午後2時～4時、申込み不要)
【会費】 2,000円
【備考】 ローズコム南からバス(まわローズ)が福山駅まで出ています。
毎時09分・29分・49分発。福山駅南口まで6分、北口まで11分。160円。

要
申込

10月7日(土)

ぶら探訪 76

大佐山白塚古墳を歩く

潮崎山古墳、曾根田白塚古墳に続きまして、なかなか行けない古墳シリーズの第三回です。歩く距離往復3km弱、標高188mの大佐山山頂付近にある飛鳥時代の古墳です。芦田川中流の眺望は格別です。

【集合時間】 午前8時30分(受付開始 8時)
【集合場所】 戸手駅
福山駅発7時47分 戸手駅着8時19分
【講師】 湯川勝彦(古代史部会)
【募集人員】 30名
【参加費】 会員100円 一般300円
【主な見学地】 大佐山白塚古墳、その他(予定)
【備考】 小雨決行、歩きやすい靴・服装で。 終了予定時刻 12時ごろ戸手駅で解散。

小雨決行

要
申込



9月9日(土)

歴史講演会

主催 備陽史探訪の会・共催 ふくやま草戸千軒ミュージアム

演題 志川滝山合戦と宮氏の盛衰

講師 田口義之(備陽史探訪の会会長)

志川滝山合戦とは、天文21年(1552)7月23日、安芸の毛利元就が備後外郡志川滝山城を攻めた戦いである。合戦は毛利氏の勝利で終わり、以後備後南部は毛利氏の支配下に入った。合戦に関する同時代史料は多く、戦国時代の合戦の実態を知りうる重要な戦いであるが、謎もまた多い。最大の謎は、この合戦の一方の主人公である志川滝山城に籠った武将は誰であったかである。『陰徳太平記』などの近世の文献では宮入道光音が380余騎を率いて籠城したことになっているが、資料の性質上信するに足らない。

今回は、当時の一級史料に基づき、志川滝山城に籠城した宮氏の素性と、その備後戦国史上に於ける意義を考察してみたい。

- 【期日・時間】 9月9日(土) 午後2時～3時半
- 【会場】 ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館) 地下講堂
- 【参加費】 無料
- 【募集人員】 150名
- 【備考】 申込み不要。

申込
不要

10月22日(日)

ぶら探訪 77

大門の海軍史跡を歩く

太平洋戦争末期の1945年に開隊された福山海軍航空隊の基地の跡を辿りながら同部隊の足跡にも触れその歴史を皆様に知っていただき戦争遺跡保存への関心を持っていただくきっかけになる行事にしていきたいと考えています。

- 【集合時間】 午前9時(受付開始 8時30分)
- 【集合場所】 JFE大駐車場北側(車は駐車場に止めて下さい)
- 【講師】 大場和弘(中世史部会 副会長)
- 【募集人員】 40名
- 【参加費】 会員100円 一般300円
- 【主な見学地】 福山海軍航空隊基地跡
兵器壕跡 防空壕跡 兵舎跡地 門柱跡 等
- 【備考】 小雨決行、歩きやすい靴・服装で。 終了予定時刻 11時ごろ。

小雨決行

要
申込

8月28日(月)

中世石造物調査

8月は、郷分町を調査します。事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。

- 【集合】 午後1時半 サファ福山 ユーホー北駐車場
- 【講師】 篠原芳秀(副会長)
- 【その他】 ※雨天の場合は中止し、後日実施。微妙な天気の際は、事務局まで確認をお願いします。
- ※なお、次回以降の予定は次の通りです。

9月25日(月) 神辺町・加茂町方面

【集合】 午後1時半

JR 福塩線神辺駅東口

10月28日(土) 駅家町方面

【集合】 午後1時半

JR 福塩線駅家駅前

雨天中止

要
申込

古代史部会	中世史部会	近世近代史部会
「大人の博物館教室」 テーマ史で学ぶ「備後」の歴史。 広島県立歴史博物館の「常設展 示」を中心に、毎回1つのテーマ で見学・学習します。 ◆8月 休講（歴史講演会の為） ◆9月23日（土） 食べる ◆10月28日（土） 祈る ◆午前10時30分～12時 ◆集合場所 広島県立歴史博物館 ◆講師 網本善光 ◆入館料は自己負担です。	「中世を読む」 休講 ◆9月16日（土）（395回） ◆会場 市民参画センター ◆時間 午後2時～4時 ◆講師 大場和弘（副部会長） ◆今話題の南北朝期 ◆10月21日（土）（396回） ◆午前10時集合～3時頃解散 ◆現地学習 特別編 備前児島郡の城館 岡山県玉野市 八浜城・常山城 ◆集合場所 八浜城駐車場（八浜八幡宮駐車場） 岡山県玉野市八浜町1060 ◆講師 中島賢介（幹事）	「近世福山の歴史を学ぶ」 ー画像でも楽しむ我がふるさとー ◆8月8日（土） 休講 ◆9月9日（土）（第102回） ◆会場 市民参画センター ◆時間 午前10時～ ◆講師 河本正二 ◆六十六部と 福山の廻国供養碑 ー今津町西の廻国六十六部碑からー 六十六部とは、法華経を六十六部書き写し、日本全国六十六カ国の霊場に一部ずつ奉納して回った廻国聖のこと。満願をとげると多くの寄進を得て「奉納大乘妙典六十六部供養塔」などと刻んだ廻国成就の石塔を建て、それらが巡礼者の郷里や、巡礼途中の村々に残っている。しかしそれと分らず廃棄されるものも多く、その意味を伝え理解を広げたいと考える。 ◆10月10日（土） 休講
古文書部会		
「古文書入門講座」 未経験でも大丈夫。崩し字や古文書の読み方をイチから学習する講座です。 ◆8月25日（金） 午後7時 ◆9月29日（金） 午後7時 ◆10月27日（金） 午後7時 ◆福山市市民参画センター ◆講師 小林悠一 ◆定員 20名	戦国の終焉のはじまりとなる「毛利、織田戦争」宇喜多氏が織田方となり児島郡は瀬戸内での最前線となった。 常山城を軸に防御する毛利方と八浜城を足掛かりとする宇喜多氏の均衡は、児島に毛利元清が入るといっきに崩れた。 玉野市の某法人の社報に中世城館の連載を持つ中島氏が案内する「ココは体感すべし！」な城跡や関連史跡を巡ります。 備考 各現地学習は要申込。 乗合せ希望の方は申込時のコメントに乗合せ希望と入れて下さい。担当から連絡有り。	上記各部会の講座は参加費100円を頂いております。別途費用がかかる場合もあります。（資料コピー代など）よろしくご協力ください。
「古文書解読会」		
◆8月23日（水） 午後7時 ◆9月20日（水） 午後7時 ◆10月18日（水） 午後7時 ◆場所 福山市民参画センター 【内容】古文書の整理・解読 ◆入門講座・解読会どちらも参加費 テキスト代実費。 参加希望の方は事務局まで申し出て下さい。 （公式サイト・メール・電話）	中世城館測量調査 ◆四川滝山城跡 広島県福山市加茂町北山 ◆10月1日（日） ◆午前9時集合～4時頃解散 ◆龍田神社駐車場 集合 （福山市加茂町北山612） 備考 要申込 弁当・飲み物持参。歩きやすい服装。 雨天、中止。	「備陽史研究」 原稿募集中 「備陽史研究」は備陽史探訪の会紀要です。論文はもとより論考や研究ノート、調査報告、また、新たに発見した史料紹介や、未解読の古文書解読など、郷土史に関する原稿を会員から広く募集しています。郷土史発展のために、奮ってご応募ください。1ページ記載の事務局へ送付ください。